

第50回 仙台市広瀬川清流保全審議会議事概要

◆ 日 時 : 令和4年8月5日(金) 15時00分～16時30分

◆ 場 所 : 市役所本庁舎 2階 第二委員会室

◆ 出席者 : 《審議会委員》(13名/16名)

伊藤 勝衛	宮城管内町内会長連絡会 事務局長
岩松 廣行	作並温泉旅館組合 組合長
有働 恵子	東北大学大学院工学研究科 教授
坂野 恭子	(公財)日本野鳥の会宮城県支部 副支部長
佐藤 靖祥	仙台弁護士会
竹中 篤史	仙台森林管理署 署長
寺島 多恵子	(一社)宮城県建築士会仙台支部副支部長
西澤 啓文	北部広瀬川愛護推進協議会
早坂 隆	仙台南地区広瀬川環境美化推進協議会
○平吹 喜彦	東北学院大学教養学部 教授
福屋 粧子	東北工業大学建築学部 教授
嶺岸 健二	広瀬名取川漁業協同組合 理事
◎山田 一裕	東北工業大学工学部 教授

《事務局》

千葉 幸喜	建設局長
川股 直哉	建設局次長
佐藤 秀樹	建設局次長
佐々木 亮	建設局次長
大黒 雅隆	建設局百年の杜推進部長
千葉 勝義	建設局全国都市緑化フェア推進室整備運営担当課長
川崎 剛	建設局百年の杜推進部公園整備課青葉山公園整備室長
相田 英輝	環境局環境部環境対策課長
都丸 晃彦	教育局生涯学習部文化財課長
長島 栄一	教育局生涯学習部文化財課主査
熊谷 純	建設局百年の杜推進部百年の杜推進課長
稲垣 憲明	建設局百年の杜推進部百年の杜推進課広瀬川創生係長
小松 健一	建設局百年の杜推進部百年の杜推進課広瀬川創生係主任
伏見 祐逸	建設局百年の杜推進部百年の杜推進課広瀬川創生係主事

(◎ : 会長 ○ : 副会長)

◆ 欠席者 : 板屋英治委員、千葉衛委員、福重祐作委員、(3名)

◆ 司 会 : 百年の杜推進課長

<次 第>

- 1 開 会
- 2 会長・副会長の互選
- 3 会長・副会長の挨拶
- 4 議 事 (報告事項)
 - ・史跡仙台城跡植生修景整備について
 - ・仙台城本丸北壁石垣災害復旧について

- 5 その他（情報提供）
 ・ 広瀬川河川緑地整備工事について

6 閉 会

◆ 議事概要

<p>百年の杜推進課長</p>	<p>1 開会 ただ今から「第50回仙台市広瀬川清流保全審議会」を開催する。 ≪配布資料の確認≫</p>
<p>建設局長</p>	<p>≪建設局長挨拶≫</p>
<p>百年の杜推進課長</p>	<p>≪委員及び仙台市職員の紹介≫ 板屋委員、千葉委員、福重委員は本日所用により欠席との連絡を受けている。 出席委員が全委員の過半数に達しているので、本日の会議は成立している。</p>
<p>坂野委員</p>	<p>2 会長及び副会長の互選 会長及び副会長は広瀬川清流を守る条例施行規則第3条に基づき、委員の中から互選により決めることとなっている。会長・副会長について推薦等はあるか。</p>
<p>坂野委員</p>	<p>前会長の山田委員を会長に、前副会長の平吹委員を副会長に推薦させていただく。 お二方ともご実績とご経験が豊富でいらっしゃいますのでいかがか。</p> <p>—異議なしの声—</p>
<p>百年の杜推進課長</p>	<p>全会一致ということなので、会長は山田委員に、副会長は平吹委員にお願いしたいと思う。それでは、山田委員には会長席、平吹委員には副会長席へご移動をお願いします。</p> <p>—会長・副会長の席の移動—</p>
<p>百年の杜推進課長</p>	<p>3 会長及び副会長の挨拶 それでは、会長、副会長より挨拶をお願いします。</p>
<p>山田会長 平吹副会長</p>	<p>(会長挨拶) (副会長挨拶)</p>
<p>百年の杜推進課長</p>	<p>これ以降の進行は「広瀬川の清流を守る条例施行規則第5条第1項」の規定にもとづき、山田会長をお願いします。</p>
<p>山田会長</p>	<p>議事の前に確認する。まず、会議の公開・非公開については、非公開となる事案がないので公開としてよろしいか。</p> <p>委員了承</p>

山田会長	<p>それでは公開とする。</p> <p>傍聴されている方は、会議の円滑な運営を図るため、会議中の注意事項を厳守いただくようご協力をお願いします。</p> <p>次に、今回の議事録の署名についてアイウエオ順で委員の方1名に代表してお願いしている。今回は坂野委員にお願いしたいが、よろしいか。</p> <p>坂野委員 了承</p>
山田会長	<p>4 議事（報告事項）</p> <p>それでは議事に入る。今回の審議会では報告事項が2件、情報提供が1件ある。事務局から概要について説明をお願いします。</p>
広瀬川創生係長	<p>事務局説明（「報告事項について」に基づき議事の位置付けを説明）</p>
文化財課長	<p>・史跡仙台城跡植生修景整備について （資料1及び史跡仙台城跡整備基本計画概要版にもとづき、文化財課より内容説明）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 史跡仙台城跡の植生修景整備の経緯・目的について 2. 植生修景整備（植生調査、植生修景計画、植生修景整備）について 3. 整備イメージパース 4. 令和4年度植生修景整備関連スケジュール
平吹副会長	<p>質疑</p> <p>1つ情報提供として発言する。</p> <p>学生の頃、青葉山で植物調査を行っていた。高い木が倒れて根返りをして、地表の土壌が表面に出てくる場合があるが、その時に沢山の埋土種子というこれまでの樹木の種子がたくさん眠っており、それが地表に出てくることで藪になるという現象が観察された。今回は丁寧に伐採等を行うという説明だったが、表土を剥してしまったり、枝を鋤きすぎると逆効果になってしまう恐れがある。</p>
文化財課長	<p>伐採というところで、伐根はやらないのでご指摘いただいた状況にはならないものと考えている。</p>
坂野委員	<p>Aの除草エリアでは長沼の所で高木は残って低木等は無くなってしまいうように見受けられるが、現在は低木と竹藪が繁茂している。除草を行った後に芝生とか何を施すのか確認したい。</p> <p>この長沼のエリアでは、私どもの野鳥の会では月に1回、青葉山定例探鳥会を開催している。この探鳥会には、他県からの参加者もあり、長沼周辺には季節ごとの野鳥だけでなく、リスもいたりする。この茂みでは、ウグイスの繁殖が確認されており、カワセミもよく観察されている。従って水際というのは野鳥の会としては植物だけでなく野鳥や動物にとって非常に貴重なエリアと考えている。</p> <p>また、博物館の入口の土塁の修景を顕在化するということが、野鳥や動物へ配慮というのも含めどのように処理されるのか。</p>

文化財課長	図に示しておりますとおり、除草を行うエリアとしているが、低木は伐採する。水際の処理については、技術的に難しい部分もあるため、現在、どこまで施工可能が可能か検討を行っております。従って、全ての範囲での除草は出来ないと考えている。修景整備は伐採の後の維持・管理が必要になり、今後も定期的に除草を実施していく必要があると考えている。
坂野委員	除草というのは、草を刈るということでしょうか。年に何回実施されるのか。
文化財課長	年間の実施回数は決まっていない。
坂野委員	繁殖について気になる時期があるので、除草する際に、相談していただきたい。
山田会長	今回の行為を行うにあたって、多様な動物が現れているので、どういった動植物がいるのかというデータ収集を行う予定はあるのか。
文化財課長	昨年度行った植生調査では、動物等のデータ収集は行っていない。
山田会長	市民の方々が観察された情報もあるので、計画について異論はないが、多様な生き物の生活の場を、またどこかで再現・復元する場を作ってあげることも維持管理の1つなので、現時点で現れている動物を知っておくということが大事である。 機会があったら、生態調査を実施し伐採した後どのような変化が起きたのかを記録しておくのも大事と考える。
文化財課長	意見を踏まえ、仙台城跡調査・整備委員会の中にも植生の専門の先生もいらっしゃるなので、相談して必要に応じて情報収集していく。
山田会長	・仙台城本丸北壁石垣災害復旧について 続いて「仙台城本丸北壁石垣災害復旧について」、担当課から具体的な説明をお願いする。
公園整備課	(資料2にもとづき、公園整備課青葉山公園整備室より内容説明) 1. 被災状況 2. 災害復旧の方針と工法 (案) 質 疑
山田会長	鉄筋の打ち込みは2mということだが、鉄筋の耐久の年数があるのか。今後、入れ替えが必要になるのか。
公園整備課	恒久的に耐久するものとして考えているため、鉄筋の入れ替えは行わない。
山田会長	工事開始はいつになるのか。

公園整備課	復旧工法については、市文化財課を経由して文化庁に協議をしている状況である。文化庁から承認を得た後に、詳細設計を進めていく。工事については、秋以降の工事着手になる予定である。
山田会長	来年度に全国都市緑化仙台フェアが開催されるが、3月までに完了する見込みであるか。
公園整備課	令和4年度内に完成するよう進めていく。
福屋委員	崩れた場所をもう一度説明してほしい。なぜここだけ崩れてしまったのか。
公園整備課	標準断面図に明記している緑着色部が元々覆土されている部分であり、令和4年3月16日に発生した福島県沖地震により流れてしまった形となる。今回は、覆土していた部分を復旧する工事となる。
福屋委員	石垣の上に覆土されていたわけではないということか。
公園整備課	石垣と石積を繋ぎ合わせている部分は土であり、そこが崩れてしまったという状況である。
福屋委員	そうすると、土じゃない方がいいのではないか。
公園整備課	工法案として石積みの復旧も検討したが、技術的に難しく災害復旧の観点から原形復旧を採用している。
福屋委員	また崩れてしまうのではないか。
公園整備課	再度災害を防止するためにソイルセメントや鉄筋挿入による補強を検討している。
寺島委員	鉄筋を打ち込むところは切土であるか。
公園整備課	石垣の背面にある裏込めまで鉄筋を到達させるために、鉄筋の角度や位置を現地の状況を踏まえ、詳細に検討し進めていく。
山田会長	工事が始まると、仙台城跡の騎馬像付近は観光客への規制はあるのか。
公園整備課	道路上に重機を設置して吹き付け作業を実施するため、観光客の皆様に影響のないように復旧する。
伊藤委員	崩落はあったものの、このまま石垣が見えていいのでは。
公園整備課	石垣の裏込めが降雨により流れてしまう恐れがあり、現存している石垣にも影響が

伊藤委員	<p>でることが懸念されるため、復旧する形となる。</p> <p>先程裏込めまで鉄筋を入れるということだが、裏込めで止めてしまっはまた崩落してしまうのではないかと。2mではなくもっと長く入れてもいいのではないかと。</p>
公園整備課	<p>鉄筋の長さについては、国史跡指定地区ということもあり、影響を最小限に留めることを前提に想定すべり面まで鉄筋挿入することとしている。</p>
山田会長	<p>復旧をし、覆土を行わないと剥き出しになった部分から裏込め等が流出し、崩落に繋がる恐れがあるため、リスクを減らす必要があるということによろしいかと。</p>
公園整備課	<p>その通りである。</p>
山田会長	<p>後世の人間が手を加えることによって、城郭に変な力が加わってトラブルがないように進めてほしい。</p>
公園整備課	<p>文化庁と協議を進めているところでありますので、指導を頂きながら施工してまいりたいと考えている。</p>
山田会長	<p>他に質問が無ければ、議事として用意していただいている報告事項2件あったが、改めて1件目の史跡仙台城跡植生修景整備について意見等はあるかと。</p>
	<p>質疑無し</p>
	<p>5 その他（情報提供）</p>
山田会長	<p>・ 広瀬川河川緑地整備工事について</p> <p>続いて情報提供として事務局より説明をお願いする。</p>
広瀬川創生係長	<p>事務局説明（「情報提供について」に基づき議事の位置付けを説明）</p>
広瀬川創生係長	<p>（資料3にもとづき、百年の杜推進課広瀬川創生係より内容説明）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 計画平面図による概要説明 2. イメージパース
	<p>質疑</p>
嶺岸委員	<p>今回の説明では、水際まで整備を行うということだったが、昨年度の説明では、水際までは影響ないという風に認識していた。全国都市緑化仙台フェアの関連もあって水際までの整備を行い、自然に親しむということは良い事である。ただ、漁協組合としては、魚の遡上時期は水際の掘削は避けてほしい。また、工事による濁水の発生は最小限にしてほしい。具体的な内容については、漁協組合に説明してもらいたい。</p>
広瀬川創生係長	<p>水際の施工についてですが、青葉山公園側の花畑は水際の手前までの整備となるため、水際の掘削行為は発生しない。西公園側の水際については、緩傾斜法面の掘削や</p>

	<p>せせらぎ水路のための掘削がある。漁協組合側に事前説明した際には、施工時期を11月以降に行ってほしい旨を聞いていたため、水際の掘削は、11月頃から行う。施工方法については、改めてご相談に伺う。</p>
山田会長	<p>特に濁水が工事に伴って発生すると生き物に影響が出てしまうので十分に配慮をお願いします。</p>
寺島委員	<p>先程の石垣復旧の植生で在来種を使用するという説明だったが、今回の全国都市緑化仙台フェアのための花畑というのは、在来種を使用するのか。</p>
全国都市緑化フェア推進室	<p>広瀬川の花畑については、緑肥やなたね油用として、一般的に畑などで栽培されておりアブラナの栽培品種、キザキノナタネや観月などいわゆる菜の花を予定している。</p>
山田会長	<p>イメージパースにあるように、春先に花畑が黄色に染まるということで、今までにない広瀬川の姿になる。花畑は、フェア期間中だけ花を咲かせてその後は摘み取るという風には聞いているが、スケジュールについて説明してほしい。</p>
全国都市緑化フェア推進室	<p>今回の広瀬川河川緑地整備工事を終えた後、令和5年3月から4月の春植えで菜の花の播種を行う。令和5年4月26日の全国都市緑化仙台フェアの開催時点では菜の花は、咲き揃った状態にはなっていないが、期間中に黄色い花畑が出現し、令和5年6月18日のフェア終了後、全て刈り上げて種子を残さない形で撤去することで考えている。</p>
山田会長	<p>説明のとおり、今まで持ち込まれなかった種が不用意に拡散するようなことがないという計画である。</p>
有働委員	<p>せせらぎ水路は、どういった形で掘られるのか。人が川に親しむ場が整備されるのは非常にいいことだが、結構細い水路で時期的なものもあると思うが、掘削の影響について、滞留することにより水質が悪化することはないか。</p>
広瀬川創生係長	<p>イメージパース図にあるように、子供が遊べるような水深や幅を予定しており、具体的に土砂が堆積しているところを掘削し、水が流れるようにし、溜まっている淀みを改善する計画である。</p>
有働委員	<p>現在は淀んでいるのか。</p>
広瀬川創生係長	<p>今は淀んでいる。</p>
有働委員	<p>その改善にもつながるのか。</p>
広瀬川創生係長	<p>そう考えている。</p>
平吹副会長	<p>個人的には、今回の工事はやらない方がいいという考えである。河川敷、特に堤防</p>

	<p>付近ということもあり非常にリスクが高い。1つ目のリスクは、環境保全区域の対象外ということだが、広瀬川の核心部に園芸種を入れるというのは言語道断である。生物多様性が盛んに行われているが、その話にもものってこない。また、仙台城跡の非常に丁寧な説明の中でも在来種を使用するなど、外側ではきちんと緑化をしていこうという動きにあえて核心部に園芸種を入れることはナンセンスである。審議会では情報提供で議論の余地はないということだが、非常に残念である。2つ目のリスクは、予想外の洪水が起こる可能性が非常に高い時代にあって、河川敷に人を入れていいのが懸念である。3つ目のリスクは、費用対効果についてであり、お金をかけて整備しても、洪水で流されてしまったらどうなのか。全国都市緑化フェアといえども、もう少し地盤が高いところで実施されてはどうかというのが筋だと思う。ただし、川辺に市民が入りたいという要望は十分理解できるので、過度の地形変革を止めていただく形で進めていただきたい。せせらぎ水路について大橋から上流側を確認し、流れの形跡を確認した。これを上手に利用すれば楽しい水辺になると思うので、自然の力、自然の怖さをもう少し認識した方がいいという考えである。</p>
<p>全国都市緑化フェア推進室</p>	<p>菜の花の選定やフェア期間中の安全対策について説明する。全国都市緑化フェアは都市緑化の意識の高揚を図り、緑豊かな潤いのある都市づくりを目的とし国内最大級の花とみどりのイベントである。緑化フェアというイベントにおいては自然環境保全と都市部での花による魅力的な景観づくりを両立させる必要があると認識している。今回使用する植物は、先程ご説明したアブラナの栽培品種を使用することとしている。品種の選定にあたっては、生態系被害防止外来種リストや河川における外来植物対策の手引きに定められていない種であるほか、短期間で花畑とすることで風散布による周辺環境への種子拡散を抑え、開花後の刈り取りにより、種子の残留を防ぐなど、影響を最小限に抑える計画としている。花、みどりのイベントであるということをご理解いただきたい。なお、全国の河川敷で問題となっているセイヨウカラシナのような繁殖力が極めて高く根系が堤防に影響を及ぼすような種は選定していない。フェア期間中の安全性については、今後、危機管理対策を計画する。地震や河川の増水時にどういった避難行動をとるかというものを定め、フェア期間中である54日間、1人たりとも事故に巻き込まれることの無いように運営を進めていく。</p>
<p>広瀬川創生係長</p>	<p>現況の地形を改変しないようにということであるが、河川管理は宮城県仙台土木事務所であり、整備について協議を行っている。県で定める河川整備計画があり、その整備計画の断面に合わせた形で整備することとしている。フェア後の利活用について、人を常時入れるかどうか宮城県と協議を進めていく。</p>
<p>平吹副会長</p>	<p>地下鉄東西線の橋梁を架けるときに環境アセスメントの委員だったが、景観という立場から非常に強いコメントがあり、河川敷については、橋脚1本建てるだけで厳しい縛りがあった記憶がある。ここの部分は仙台城と街中を結ぶ非常に重要な核心部の1つと思うので丁寧な対応をしていかないと、仙台市はこういうポリシーなんですねという見える形になってしまう。よろしく願います。</p>
<p>山田会長</p>	<p>今回の事務局からの回答を市民の方に公開し、経緯や処理など、間違っても綺麗だから使ったというメッセージにならないような配慮をしていただき、イベントであっ</p>

<p>百年の杜推進 課長</p>	<p>でも、恒久的に広瀬川をどういう形で未来に繋いでいくのか軸がぶれないようにしていただきたい。ただ、我々が残していきたいものとして園芸種の選択はなかったなどという認識である。是非、情報発信をしていただきたい。</p> <p>そのままの形で広瀬川を親しんでいただくということは大事なことは認識している。ただ、一方で今回整備するような場所は気軽に広瀬川に親しんでいただく場所が必要という意見も出ている。</p> <p>仙台市基本計画や広瀬川創生プランでは、川などの水辺により親しめる空間を作りたくさんの人が集い交流し、度々仙台を訪れたいくなるような空間づくりにもすることも目標の1つである。広瀬川に気軽に親しむことができ、親しみ魅力を感じていただき多くの方が関心を持つことに繋がるかと考えている。委員の皆様からさまざまな頂いた件については検討させていただき、会長からも事業については公開すべきという話も頂いたので、事務局の方で検討させていただき、対応する。</p>
<p>早坂委員</p>	<p>西公園側のせせらぎ水路付近は河川流域が狭い地域である。大橋の初代の伊達政宗公が作られた時代の欄干の銅板が若林区の知人自宅の建て替え時に地下から出てきた。この辺の橋というのは昔から何回か流されているので、せせらぎ水路周辺の土をいじることで流域が狭くなる可能性がないかという不安がある。広瀬橋の近くでも数年前に水位が増した経過がある。想定されない量の雨が降った際でも周辺に影響がないよう配慮していただきたい。</p>
<p>広瀬川創生係長</p>	<p>断面図のとおり、護岸までは相当な距離がある。この辺りは、数年前に仙台土木事務所で河道掘削を行ったところであり、河川整備計画の断面は確保している。今回は、河道掘削により確保した断面よりもさらに掘削し緩傾斜にしていく。従って、水の流れる量が増え、高水敷に浸かる確率が低くなり安全側になると考えている。なお、将来計画の河川整備基本方針では、緩傾斜断面よりも更に掘削する計画となっている。</p>
<p>有働委員</p>	<p>せせらぎ水路について、どの程度まで掘削することができるのか。河川に影響が無いか。宮城県の方でいろいろなデータがあると思うのでよくよく検討していただきたい。</p>
<p>山田会長</p>	<p>大雨により濁水により堆積物が流れてきて、せっかく整備はしたものの、せせらぎ水路が埋まってしまった時のその後の維持というものはどのようになるのか。</p>
<p>広瀬川創生係長</p>	<p>せせらぎ水路は緑化フェア期間中の仮設的な意味合いを持っているものであり、恒久的に残すものとしては考えていない。</p>
<p>山田会長</p>	<p>緑化フェア期間中は、人が河原に下りて水に親しむことが出来るものの、緑化フェア期間後は、通常の河川の扱いになるので注意が必要ということを広報していかないと人が不用意に近づいてトラブルの要因を招くということになりかねないので、安全配慮をお願いしたい。</p>
<p>福屋委員</p>	<p>緑化フェアについて、会場は緑彩館の他にあるのか。</p>

<p>全国都市緑化フェア推進室</p>	<p>緑化フェアのメイン会場としては3つある。青葉山公園の迫廻地区、西公園の南側地区、広瀬川地区である。それ以外にもまちなかエリア会場として、定禅寺通や青葉通、宮城野通なども会場である。さらに今回の仙台フェアにつきましては、震災からのみどりの復興の発信ということも考えており、東部エリア会場として荒浜小学校、3.11メモリアル交流館、海岸公園、高砂中央公園などを会場としている。</p>
<p>福屋委員</p>	<p>気になるのは、この広瀬川会場にどれくらいの人があるのかということである。西公園側で河川に下りて楽しめる方の想定数や利用ルールをどうしていくのか、せせらぎ水路を含めた使い方を一過性だけでなく自然利用として地域に位置付けていただきたい。</p>
<p>全国都市緑化フェア推進室</p>	<p>今後も続けていけるような事業にしていきたいと考えている。青葉山公園は、大花壇、企業や自治体の庭園、花壇の出展といったような花を中心としたエリア、その他にも芝生エリアがある。西公園については、親子連れをターゲットとして西公園の樹林地を活かした、アスレチックやジップラインを整備し、親子連れが西公園を楽しめるよう計画を進めている。西公園や青葉山公園に来た方が広瀬川の方に下りて利用する形を考えている。西公園側の広瀬川については、広場の整備も行うので現在西公園を起点として活動している市民団体とも関わりながら、行政だけでなく一緒に緑化フェアを盛り上げていけるよう、協議を進めている状況である。西公園側の広場の活用ルールについても今後検討する。</p>
<p>岩松委員</p>	<p>緑化フェアについては、一日5万人位を想定されているようだが、仙台市としての観光、流通人口を増やすと市長も言っているの、文化観光局との調整はしているのか。</p>
<p>全国都市緑化フェア推進室</p>	<p>緑化フェアについては、来場者100万人を目指している。メイン会場については約60万人、1日当たり数千人から2万数千人位が来場するのではと考えている。関係部局との調整については、建設局だけでなく、文化観光局、教育局、市民局などとも連携をしながら進めている。緑化フェアに来ていただいた方が市内の観光資源に訪れていただけるよう関係部局と調整を進めている。</p>
<p>岩松委員</p>	<p>現地視察の際、巽門の登り口にあるカエデの高木が伐採の憂き目にあうということだが、昨年の審議会で西公園のヒマラヤ杉が伐採しなければならないと説明を受けた。私自身、昔、材木屋をやっていたが、その立場からすると名木である。昨年の審議会でヒマラヤ杉をチップにしないで利活用する方法はないのかということに対し、検討するとの回答であった。その後の回答が無いため、単なる通過儀礼ではなく、審議会で提案させていただいたものについては、しっかり回答していただき審議会委員に共有していただきたい。また、鳥瞰図が欲しいということに対しても、早急に作成するという回答であったが、我々の手元には来ていない。ようやくイメージパースのようなものを見せていただいたが、やはりこの場で抽象的な回答については、しっかりと会長の方にもお示ししていただきたい。先ほど、嶺岸委員からのせせらぎ水路の掘削の工法についても説明するようにお願いする。あと、緑彩館から仙台市街を眺</p>

	<p>めた時に高層マンションが立ち並び景観が悪くなり非常にがっかりしている。本丸から仙台市街も見えなくなってしまうのではないか。政宗公も寂しい思いするだろうと考える。この問題については、以前の建設局長は審議会を通じて議論していくといった。継続して検討していただきたい。</p>
建設局長	<p>審議会で検討するといった事項については、記録して進行管理を会長と相談しながら進めていく。その際に、審議会での検討事項とそれに付随する検討事項を仕分けし進めていく。広瀬川兩岸の景観については、さまざまな問題があるかと思うが、沿川に建つマンションについては、基本的には合法的に建てられている建築物であり、その景観を議論するというのが難しい現状にある。委員ご指摘の意見も当然であり、認識はしているが、制限に結び付くかどうかは状況により変わってくるもので、審議会で全てが議論できるものでないということもご理解願う。</p>
山田会長	<p>情報提供としての意見は他にないか。その他として何か質問はあるか。</p>
岩松委員	<p>昨年度指摘したヒマラヤ杉の利活用についてどういう結論になったのか、今回のカエデの名木をどういう風に利活用されるのか教えてほしい。ただ単に、チップとするのは勿体無い。</p>
百年の杜推進課長	<p>昨年度にご指摘いただいた内容については、会長・副会長に説明していく。</p>
坂野委員	<p>利活用の件について、栗原市が6月30日までの間にファーストウッドということで新生児に木材のおもちゃを提供するためのアイデア募集やオリンピック・パラリンピックで使用した木材を返却してもらい、ベンチを作るなどの利活用に取り組んでいる。他都市の事例も参考に出来ないかという情報提供である。</p>
山田会長	<p>最後に議事に関して、何か他にないか。 それでは、本日の議事を終了したいと思う。マイクを事務局に返す。</p>
百年の杜推進課長	<p>6 閉会 ・以上で第50回仙台市広瀬川清流保全審議会の一切を終了する。</p>

この議事録について、会議の内容に相違ないことを認めます。

令和 年 月 日

仙台市広瀬川清流保全審議会署名委員

会 長 _____

委 員 _____